

畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 KK東北プリント



地域畜産振興普及広報(金成町)

もくじ

宮城県畜産会平成3年度事業の概要	2
輸入自由化後の子牛価格動向	3
輸入自由化後の牛枝肉価格動向	4
豚オーエスキー病(A/D)防疫対策	5
あか牛種雄牛導入について	5
第6回全国和牛能力共進会の開催について	6
第41回日本畜産学会東北支部(創立40周年記念)	
大会・総会のお知らせ	7
宮城県総合畜産共進会のお知らせ	7
米国畜産の印象(4)	8
アルファルファ混合飼料給与が去勢豚の発育、 枝肉成績に及ぼす影響	9
ヨーネ病について	10
随想	10

宮城県畜産会平成3年度事業の概要

(社)宮城県畜産会

平成3年度本会事業については、去る6月20日開催した第36回定時総会において承認されました。

本年度事業の基本方針は、農業、畜産を取り巻く厳しい環境の下、畜産経営の安定と発展が緊要な課題とされる現状を踏まえ、生産基盤の整備拡充による生産性の向上、畜産物の需給動向に即した計画生産、品質向上、指導体制の強化等今後の展望に即した経営技術に重点を置き、足腰の強い畜産農家の育成と経営の安定に資することとしています。

事業の内容は下記のとおりで、経営診断指導事業を柱に調査事業、畜産共進会等を実施することとしておりますが、事業実施に当り県及び畜産団体と密接な連携を図り事業の推進に努めることとしておりますので、会員各位の特段のご指導ご協力をお願い申し上げます。

1. 畜産経営技術高度診断指導事業

高度な経営技術を基礎とした生産性の高い畜産経営の健全な発展と安定を図るため、診断指導事業を下記件数実施する他、指導員研修会、優良畜産経営技術発表会も実施します。

なお、診断事業は畜産振興資金借受農家の診断を除

表 平成3年度畜産経営技術高度診断指導事業実施予定件数

畜種別	事業名	個別診断指導事業					畜産技術改良 中核農家 育成事業	
		新規	再診断	特別診断	高度技術	畜産振興資金		
		事例	事例	事例	事例	事例		
酪農		7	1		8	10	26	2
肉用牛		10	5	1	10	20	46	5
養豚		8	4		7		19	3
計		25	10	1	25	30	91	10

き、何れも農家、農協、市町村等の要請により実施いたしますので、最寄りの農業改良普及所、家畜保健衛生所経由のうえ本会に申し込んで下さい。

2. 一般指導事業

- (1) 宮城県総合畜産共進会開催事業
 - ① 期 日 平成3年9月20日～21日
 - ② 場 所 玉造郡鳴子町 川渡家畜市場
 - ③ 出品家畜 乳用牛 80頭 肉用牛 132頭
 - (2) 畜産経営体質強化特別指導事業
 - ① 先進的畜産経営体調査 14事例（酪農3，肉用牛8，養豚3）
 - ② 先進的肉用牛経営者協議会の開催
 - ③ 畜舎建築等保守管理検討会の開催
 - (3) 肉用牛生産経営技術改善事業
 - ① 調査地域 26地域
 - ② 調査戸数 511戸（繁殖466戸，肥育45戸）
 - (4) 養豚需給調整安定対策事業
 - ① 需給調整安定対策委員会の開催
 - ② 計画達成指導推進連絡会議の開催
 - ③ 計画生産状況調査（子取り用めす豚飼養調査）
 - (5) 畜産経営向上対策事業
 - (6) 畜産機械施設貸付調査指導事業
 - (7) 地域活性化対策事業 10ヶ市町村（白石市，丸森町，大和町，古川市，若柳町，豊里町，南方町，登米町，矢本町，桃生町）
 - (8) 畜産経営環境整備調査事業 黒川地域
 - (9) 畜産経営簡易診断指導事業 40事例
 - (10) 畜特資金借受農家診断指導事業 27事例（濃密指導7，巡回指導20）
 - (11) 畜産団体調整機能強化事業
 - (12) 特定肉用牛生産流通実態調査事業
- その他子豚需給調整対策事業、産業動物獣医師確保特別修学資金給付事業、畜産普及広報活動事業等を実施いたすこととしています。

飼料は



まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116

動物用
医薬品 (牛専用)

トルラミックス

特殊酵母十必須ビタミン十ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

輸入自由化後の子牛価格動向

宮城県畜産農業協同組合連合会

今年4月より牛肉が輸入自由化となりましたが本県の和牛子牛の市場動向は下記の通りとなっております。

4月は3月市場より771円安、5月は4月市場より21,928円高、6月は5月市場より15,364円安と不安定な相場で取引されているが、産地間競争も激化している中、購買者は、今後の輸入関税を見通しつつ、血統

買いが多くなっているのも真実であります。ちなみに過去3年間の子牛市場の総平均は1頭当り昭和63年度は470,860円、平成元年度は499,714円、平成2年度は462,083円となっておりますので参照していただければ幸甚と思います。

(事業部 高橋)

平成3年4月～6月宮城県子牛市場成績 (県畜連及び会員用雇分)

区分	平成3年4月						平成3年5月					平成3年6月						
	取引頭数	平均価格	平均体重	生体重kg	前回平均価格	平均価格対比	取引頭数	平均価格	平均体重	生体重kg	前回平均価格	平均価格対比	取引頭数	平均価格	平均体重	生体重kg	前回平均価格	平均価格対比
亘理					11	317,708	14	305,616	275	1,112								
(14日)					16	452,685	10	447,432	305	1,469								
計(平均)					27	397,692	24	364,706	287	1,269								
大崎西部	162	340,994	262	1,300	226	387,531	△46,537	97	397,856	266	1,493	56,862	153	384,170	273	1,405	△13,686	
(14日)	164	461,811	292	1,580	245	506,705	△44,894	146	505,398	301	1,679	43,587	205	478,618	306	1,565	△26,780	
計(平均)	326	401,773	277	1,449	471	449,522	△47,749	243	462,470	287	1,610	60,697	358	438,253	292	1,501	△24,217	
佐沼	245	384,900	271	1,416	292	374,754	10,146	259	405,128	277	1,463	20,228	235	364,826	276	1,323	△40,302	
(15日)	273	538,207	307	1,750	347	509,633	28,574	330	530,896	310	1,712	△7,311	272	518,480	307	1,688	△12,416	
計(平均)	518	466,697	290	1,603	639	447,998	17,699	589	475,592	295	1,610	9,895	507	447,260	293	1,529	△28,332	
築館	197	402,902	275	1,462	322	391,307	11,595	216	435,280	276	1,577	32,378	219	383,890	275	1,395	△51,400	
(16日)	240	512,386	306	1,673	346	535,933	△23,547	284	566,090	310	1,825	53,704	260	528,838	311	1,703	△37,252	
計(平均)	437	463,030	292	1,583	668	466,218	△3,188	500	509,580	295	1,725	46,550	479	462,562	294	1,571	△47,018	
川渡					141	378,185		157	386,235	270	1,465							
(17日)					204	482,404		184	510,796	304	1,683							
計(平均)					345	439,810		341	458,051	288	1,589							
小牛田	223	388,859	264	1,460	285	354,865	31,994	248	384,369	270	1,422	△2,490	230	388,059	268	1,450	3,690	
(17日)	278	489,494	297	1,644	310	516,913	△27,419	263	515,689	300	1,719	26,195	254	531,490	304	1,751	15,791	
計(平均)	501	443,810	283	1,543	595	439,294	4,516	511	451,956	286	1,583	8,146	484	463,325	286	1,617	11,369	
白石					55	374,057		50	327,231	265	1,236							
(19日)					66	454,806		54	464,072	302	1,539							
計(平均)					121	418,102		104	398,283	284	1,402							
計	牝	827	381,116	268	1,417	1,332	376,532	4,594	1,041	399,340	273	1,602	18,224	837	379,732	273	1,391	△19,608
	去	955	504,419	301	1,672	1,534	509,995	△5,576	1,271	526,279	306	1,721	21,860	991	516,284	307	1,682	△9,995
総計(総平均)	1,782	447,196	286	1,561	2,866	447,967	△771	2,312	469,124	290	1,614	21,928	1,828	453,760	291	1,558	△15,364	

今年のエ・カの駆除は

くみあい

アルファクロン

—持続性殺虫力—

シューバン乳剤

—即効性殺虫力—



農協・宮城県経済連・全農

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

輸入自由化後の牛枝肉価格動向

宮城県経済農業協同組合連合会

1. はじめに

牛肉の自由化になって、すでに 3 ヶ月余が過ぎているが、4 月以降価格の激変は特に見られず、むしろ、昭和 63 年 6 月から徐々に枝肉市況に影響は生じていることは事実である。

ここでは自由化決定以降現在に至るまでの価格推移と今後の動向について述べてみたい。

2. 経過と現状

昭和 63 年 6 月自由化が決定されるとほぼ同時に、農業総合研究所から大賀シミュレーションが発表され、さらに翌年 9 月に「牛肉需給モデル」による再試算がなされた。この試算（C ケースの場合）では、ある一定の条件下でのこととして、自由化 5 年後に和牛（去）価格（中）は 1,870 円、乳雄（中）は 1,184 円となっている。しかし現状における枝肉価格の推移は図 1 のとおり動きを示しており、輸入牛肉と品質格差がある和牛については、比較的価格の低下はないものの、品質的に輸入牛に近い乳用種については、低迷が顕著になっている。このことは輸入牛肉自体品質改善対策として、フローズン（冷凍肉）からチルド（冷蔵肉）に変え、さらに部分肉から枝肉で輸入する方策を取っていると料される。

次に図 2 の国内推定期末在庫では元年 8 月以降急激に増加し 11 万トン台の推移となっており、同時期に乳用種中心に価格が低迷している。即ち国内の輸入牛肉を含めた在庫量は、特に乳用種の価格へかなりの影響があるものと推測される。今後は在庫量を減少させるための手法（例えば輸入量が減少するか又は消費量を増加させる）を講じない限り、価格の回復は望めないことになりそうだ。

図 1 国産牛肉の種類別卸売価格の推移（東京市場）

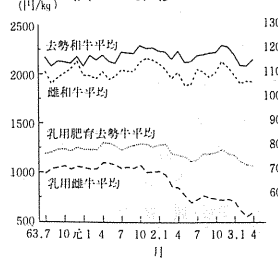
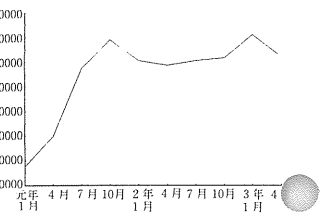


図 2 定期末在庫



3. 今後の動向

前述の大賀シミュレーション（C ケース）の 2000 年の価格見透しは和牛（去）価格（中）で 1,934 円、乳雄（中）で 1,195 円を予測しているが、国内の輸入牛肉冷凍技術の改善等による輸入牛肉の品質差がどのように市況へ作用するか、又消費者の輸入牛消費にどのような購買行動をもたらすのか、平成 6 年度以降の関税がどのようになるのか、予測するためには複雑な要因がからみ合っており、影響を受けないと見られている和牛の中品質のものも含め、今後の価格動向見透しは困難である。しかし当面は和牛（去）A-5、2,600 円、A-4、2,250 円、A-3、1,800 円、乳雄 B-4、1,400 円、B-3、1,200 円中心の動きとなろう。

（食肉販売課長 大森 芳弥）



動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉 3 丁目 3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目 3-8
022 (225) 7338-9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野 28
0229 (34) 2018-9

仙台営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗 1
0220 (22) 2278

WORLD トラクター サンシャイン

株式会社 **五十嵐商会**

仙台市若林区卸町五丁目 1 番地 4
電話 (022) 236-2525 (代表)

豚オーエスキー病 (AD) 防疫対策

宮城県畜産課

最近の本病は、東北、関東および九州地方で限局的に発生があり、本県でも今年3月に発生がありました。県・現地本病対策本部を設置し、地域の協力を得て防疫活動の結果、現在終息の状況となっています。

こうしたなかで、総合的な防疫対策のため国から「本病防疫対策要領」(畜産局長通達)が定められ、県でも本年6月「県AD防疫対策要領」を定めたので概要をお知らせします。本要領では、まず本病の防疫を円滑に推進するため、県や養豚関係各機関で構成した「県豚AD防疫対策協議会」とその下に「各地域AD防疫対策協議会」を設置して、地域ぐるみで対策を講じていくものとしています。その対策は本病の発生状況に応じて、㊦清浄地域、㊧準清浄地域、㊨清浄化推進地域に区分して実施していくこととしています。

㊦の地域では、抗体陰性豚の導入に努めるものとし、定期的な抗体検査により、継続的に清浄化を維持していくことが大切です。㊧の地域では、異常豚あるいは抗体陽性豚の発見に努め、これらの豚の早期淘汰をすることにより清浄化を図っていくこととしています。㊨の地域は現在県内では、該当市町村はありませんが、㊦の地域に準じた防疫措置を講じていきます。

また、国の要領と同時に本病のワクチンが認可されましたが、本ワクチンは豚コレラワクチンとは異なり、一般的に発症防止効果は有するものの、感染防止効果を充分有していないこと、使用した場合の抗体識別検査が煩雑であることなどから、本県は原則的にはワクチンは使用せずに防疫対策を進めていくこととしています。以上が本県対策要領の概略ですが、養豚関係者の皆様のなお一層のご協力により本病清浄化を維持していきたいと思ひます。

(衛生係長 高橋 勝一)

あか牛種雄牛導入について

宮城県経済連

平成2年度から、宮城県の助成を受けて実施している、あか牛振興事業の一環として、種雄牛を導入したので紹介します。

今回導入した種雄牛は熊本県矢部町産の「秋山号」です。

平成2年1月12日生れて父牛は、「波丸」母牛「あきかね」。(系統図は別添のとおり)

現在熊本県の肉質改良の基礎牛となっている種牛は、「第3光丸」,「第十光丸」,「波丸」の3頭で、波丸の息子牛、「秋山号」は、重玉系の種牛として、肉質の改良に期待がもたれております。

「秋山号」は、4月11日熊本県から導入され、宮城県畜産試験場において、精液性状検査と精液採取を行い、6月から大郷町の農家に委託され、9月から放牧場の牧牛として利用されることになります。


4月から牛肉の自由化が実施され、肉質等級3等級、2等級クラスにその影響が大きく、あか牛についても、大変厳しい状況にあります。

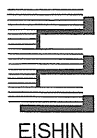
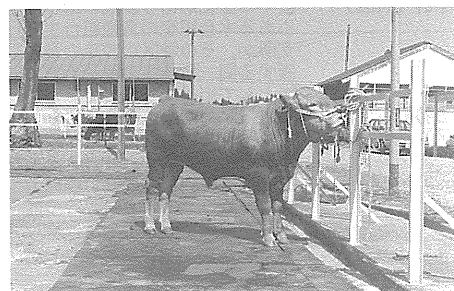
しかしながら、県内では、大郷町、大和町を中心にその経済性が認識され、伝統的に飼養されてきた経過もあります。

自由化は始まったばかりです、どのような局面が開開するか予断を許さない状況にあります。

本会としては、あか牛振興事業を通じ、今回導入した「秋山号」を活用して、自由化に対応できる経済性の優れた肉牛生産体系の確立に努力する所存です。

畜産総合推進課 保料

子 号 第 5 5 3 3 号		
名 号	姓 姓	
生年月日	平成2年1月12日	
特 徴	種 別	育 種
血	父 波 丸 (特級 得点 85.6 87)	母父 第 3 光丸 (特級 27)
	母 あきかね	祖母 第 3 まるはな (1級 48540)
統	[高 得点 83.1]	祖父 重 全 (1級 441)
		祖母 あきこ (1級 15762)
親母の父	幸 電	
登録名 (所有権)	熊本県七尾地蔵矢部町 田上 浩彦	



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

EISHIN

取締役社長 山田 修造

本 社 (畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

第6回全国和牛能力共進会の開催について

宮城県畜産農業協同組合連合会

「めざそう国際競争に打ち勝つ和牛生産」をテーマで、第6回全国和牛能力共進会が、下記概要にて開催

されますので、奮って参加されますようお願いいたします。

主催 社団法人全国和牛登録協会
参加 全国35道府県
会期 平成3年4月26日～平成4年10月5日
最終比較審査

第6回全共主要行事予定表

	種牛	肉牛
会期	平成4年10月1日～5日	平成4年5月15日～18日
会場	大分県大分郡湯布院町	大阪市住之江区南港 大阪市中央卸売市場南港市場
出品頭数	284頭	123頭

平成年	月	日		
3	4	26日	第2回全国連絡協議会、開会式	
	5	中	肉牛の部の第1回立会	
	※		出品委員研修会	
	9	下	肉牛の部の第2回立会	
	10	31	種牛の群出品の申込期限	
	11	30	種牛の単品の申込期限	
	12	上	種牛の第1回立会	
	4	1	下	第3回全国連絡協議会
		3	下	肉牛の部・道府県最終予選
	4	下		種牛の部の第2回立会
4		上		
4		中	第4回全国連絡協議会(於・大阪会場)	
5		15～18	肉牛の部・最終比較審査(於・大阪会場)	
7		下	種牛の部・道府県最終予選	
8	上			
9	上	第5回全国連絡協議会(於・大分会場)		
	28	}	出品牛、大分会場に搬入	
	29			
	10	1	最終会場開会式	
～		最終比較審査		
5		閉会式		

出品の区別

月齢は最終審査開始日 種牛 平成4年10月1日(木)

肉牛 同 4年5月15日(金)のもの

区分	品種	生後月齢(生産月日)	宮城県当頭数
第4区(若雌の1)	黒毛和種	14～16カ月 (3.5.2～3.8.1)	1
第5区(若雌の2)	〃	17～19カ月 (3.2.2～3.5.1)	1
第6区(若雌の3)	〃	20～23カ月 (2.10.2～3.2.1)	1
第9区(改良組合繁殖雌牛群)	黒毛和種	別記	1(4)
第11区(父系牛群)	〃	20～23カ月 (2.10.2～3.2.1)	1(4)
第12区(父系去勢肥育牛群)	黒毛和種 または 褐毛和種	24カ月未満 (2.5.10以後)	1(3)
合計			14

【付 説】

若雌(4～8区)	黒毛、無角、褐毛の3品種の個体出品。出品者は常時繁殖雌牛(12カ月齢以上)5頭以上を飼育しているものという条件をつけ、和牛経営の定着や規模拡大を促します。
改良組合繁殖雌牛群(9区)	全国の和牛主産地に、市町村単位で本会が公認している和牛改良組合が、経産牛4頭を1組として出品する区です。集団活動による改良成果や技術水準の向上を図り、地域の和牛振興を促進するのが狙いです。
父系牛群(11区)	産牛の歴史があり改良の進んだ主産地にある本会認定の育種組合または本会支所が、その地区の改良の最先端に位置する同一種雄牛の産子若雌4頭を1組として出品する区です。
父系去勢肥育牛群(12区)	同一種雄牛の産子去勢牛3頭を1組とし、24カ月未満の条件で、全頭枝肉にして審査を行います。24カ月未満で質量両面で揃って経済性の高い枝肉の生産に挑んでもらうとともに、この区には、種雄牛の産肉能力現場後代検定的な意味合いを強く持たせた新しい試みの出品区です。

付 帯 行 事

婦人の審査競技会の開催

(事業部長 高橋 亮)

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地

TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1

TEL 0229238888(代)

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

第41回 日本畜産学会東北支部

(創立40周年記念) 大会・総会のお知らせ

宮城県畜産課

畜産を取り巻く諸情勢は、国内的には担い手の高齢化、新規就農者の減少、牛肉を除く部門においての需給の不均衡、畜産物価格の低迷などの問題を抱え、対外的にも牛肉の輸入自由化が本年4月から始まり、輸入量増加と内外産地間競争の激化等、厳しい局面を迎えております。

このような情勢の中で、畜産振興の打開策を探るため、東北六県の畜産関係者が一堂に会し、学術交流及び情報交換を行う大会を下記により開催します。

この大会は、東北六県を巡って研究発表と畜産上重要な問題を取り上げたシンポジウムを開催するものです。今年度は、支部創立40周年の記念すべき年に当たり盛大に開催しますので、畜産に関心のある一般の方々の多数の御参加(無料)をお待ちしております。

記

- 1 会期：平成3年8月29日(休)・30日(金)
- 2 会場：仙台サンプラザ TEL 022-257-3333
(〒980 仙台市宮城野区榴ヶ岡5-11-1)

3 大会日程の概要

第1日(8月29日)

- 9:30 支部創立40周年記念大会開会
- 10:00 記念講演「家畜の功罪」 東京農業大学教授・東北大学名誉教授 津田恒之
- 15:45~16:40 支部表彰・講演
功労賞講演 星 卓二(宮城県農業公社)
学術賞講演 荒井威吉(宮城県生乳検査協会)

第2日(8月30日)

- 9:00~12:00 一般講演
- 13:00~16:45 シンポジウム「地球の特性を活かした肉用牛の課題と展望」

(畜政係長 庄司 剛)

宮城県総合畜産共進会のお知らせ

(社)宮城県畜産会

本県家畜の改良意欲の高揚並びに飼養技術の向上と健全な畜産振興を期すため、平成3年度は下記のとおり開催いたすこととなりましたので多数ご参観下さいますようご案内申し上げます。

記

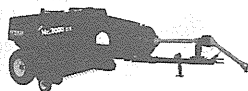
- 1 名称 農林水産祭参加平成3年度宮城県総合畜産共進会
- 2 主催 (社)宮城県畜産会
- 3 共催 宮城県畜産農業協同組合連合会
(社)日本種豚登録協会宮城県支部
宮城県経済農業協同組合連合会
宮城県家畜商協同組合
宮城県生乳販売農業協同組合連合会
- 4 後援 宮城県、鳴子町、畜産関係団体
- 5 会期 平成3年9月20日(金)~21日(土)
- 6 場所 鳴子町 川渡家畜市場
- 7 出品家畜と頭数
乳用牛 80頭
肉用牛 132頭
- 8 イベント
◎和牛の調教講習会
◎和牛婦人部審査コンクール
◎和牛ジャッチングコンテスト
◎県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会
◎銘柄豚展示コーナー (試食コーナー)
◎農業機械展示コーナー
◎畜産物展示即売コーナー (焼肉コーナー等)
◎牛乳、乳製品展示即売コーナー
◎家畜改良コーナー



より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
牧草梱包稲わら梱包に!!



Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX

ヘーベラTHB2020

スター農機株式会社 仙台営業所

9 8 5 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573
FAX 367-4846

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 吉川市福浦字道の上106番1号
☎989-61 TEL吉川(0229)23-1691

米国畜産の印象(4) (米国食肉輸出連合会=USMEF =United States Meat Export Federation) (その2)

秀島 理明

5 日本での活動

1990年1月に現会長のフィリップ・M・セング氏が会長に就任した。氏は1982年からアジア代表として滞日し、1988年からデンバー本部で国際部副会長を勤め、1989年には筆頭副会長になり、常に日本市場と密接な関係を保っている。滞日中の役割は、アメリカの肉を買ってもらうために、お互いが正確に理解し合えるようにあらゆる機会を利用し、人とつきあうことであり、輸出を長続きさせるためには、日本の食肉消費量を増やすことにあったと述べている。

市場調査、消費動向の調査を行い、1987年4月から大々的なPR活動が開始された。

基本的な戦略は、主婦層をターゲットとし、赤肉、健康、低カロリーである「おいしいアメリカン・ミートをよるしく」という消費者へのプロモーションである。具体的には、横浜博覧会でのミート・ミート館、スーパー、ファミリーレストラン等とのタイアップによるアメリカン・ミートフェアの開催等、多様な活動を行っており、その手法は、今後の「仙台牛」の銘柄普及にも十分参考になると思われる。

また、業界へのプロモーションも、ハムや卸売業者、スーパー、レストラン、ホテル、商社など年間3,000店舗を訪問するなどエネルギーな動きをしている一方、テレビ、新聞、主婦を対象とした季刊誌「Frontier」を発行するなど、積極的な広報活動も行っている。

1989年度には、アメリカン・ミート販売の常設店が600軒を越し、日本国内での知名度も上がってきている。

6 Q & A

Q 日本への輸出に関する企画を行う場合、政府から指示、指導があるか。

A 政府間同士の折衝をやるために、政府は体制的なことを知っていればいいだけで、現場の人間が企画して進めている。従って公的機関からの指示はない。

Q 大学に助成金を出し、研究依頼などを行っているか。

A 各大学など研究機関へ、当局から情報を提供すると、大学から情報がくる。その中から選択し助成金を出し研究してもらう。今まで数えきれないほど行ってきた。

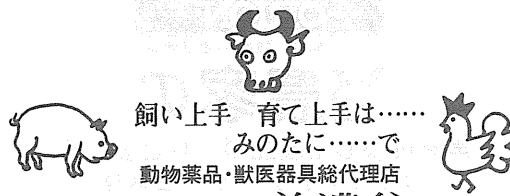
Q 牛肉政策のコントロールは誰が行っているか。

A 日本とは基本的に異なり、価格を決めるのは政府ではなく(?)、需要と供給であり、消費者である。パッカーから売りに出される価格は、同業者間の調査など一般的な指標はあるが、輸出、外食産業、その他というように売り先が多岐にわたっているので、価格決定するのが難しい。

Q 次の輸出目標の国はどこを考えているのか。

A 韓国、ヨーロッパで、将来的にはソ連であろう。以上、今まで4回にわたり報告したが、本年4月より自由化が始まり、乳用種肉用牛や黒毛和種の子牛価格の低迷など少しづつ影響が出てきており懸念しているところですが、今後、国内外の産地間競争に打ち勝つためには、肉用牛農家、関係諸団体が一体となった、質・量の向上が必須と考えられますので皆様の一層の御努力を期待しております。

(宮城県農業経済課共済係長)



飼い上手 育て上手は……
あなたの……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本 山 形 店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL033121
仙 台 店	仙台市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL0454306
鶴 岡 店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL040963

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂五丁目1番3号
☎ (022) 384-5181

< 畜試便り >

アルファルファ混合飼料給与が去勢豚の発育・
枝肉成績に及ぼす影響

より低コストに肉豚を飼養管理できるハウス養豚では去勢豚の厚脂が問題になっている。そこで当場では蛋白質含量の比較的高い粗飼料であるアルファルファミールを肥育用配合飼料に混合給与することでこの問題を解決できるかどうか試験を行なったのでその結果について報告する。

ミヤギノ造成途上豚をランドレース種として用いた三元交雑豚(LWD)の去勢豚30頭を使試し、体重80kg到達時からアルファルファミールを20%混合給与した豚(試験区)と通常の肥育用配合飼料のみを給与した豚(対象区)との間で発育・枝肉成績を比較した。なお、豚の飼養は場内の発酵床式簡易豚舎(ハウス豚舎)で体重30kg到達時から出荷時(体重おおむね105kg到達時)まで行なった。

発育成績については表1に示す通りであった。試験区において、アルファルファ混合給与時から有意に一日平均増体量が低下し、出荷日齢が遅くなった。試験区の飼料はアルファルファミールの混合によりエネルギー含量が低くなっているため、飼料取扱量は両区でほぼ同じであったためこのような結果になったと思われる。枝肉成績については表2に示す通りであった。今回調査したすべての枝肉形質に関しては両区間に有意差はみられなかった。しかし背脂肪厚に関してはカタの部位を中心に試験区で薄くなる傾向がみられた。また上物率も試験区において高い数字が得られた。

以上のように、比較的高い蛋白質含量の粗飼料であるアルファルファミールを通常の肥育用配合飼料に20%の割合で混合し、体重80kg到達時から出荷時まで給与することにより、肉づき等による格落ちを増加させることなく去勢豚の背脂肪厚を若干薄くすることが可能であることがわかった。しかし依然として背脂肪厚は高い水準にあるので、給与時期の検討等が必要であると思われる。(養豚家きん科 吉野淳良)

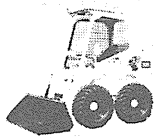
表1 発育成績

	試験区		対照区	
肥育開始体重 (kg)	30.5±	7.9	31.2±	6.6
肥育開始日令 (日)	72.9±	5.7	72.6±	5.6
アルファルファ混合時体重 (kg)	80.3±	11.1	80.9±	12.7
混合時日令 (日)	136.9±	5.7	132.6±	5.6
出荷時体重 (kg)	105.7±	1.7	106.3±	2.3
出荷時日令 (日)	166.7±	9.2*	157.4±	9.7
肥育期間 (日)	93.8±	13.1	84.8±	12.7
一日平均増体量1 (g)	805.5±	44.9**	894.9±	70.5
一日平均増体量2 (g)	777.8±	60.3	828.8±	115.3
一日平均増体量3 (g)	835.0±	144.1**	1026.3±	164.1
平均±標準偏差	*: P<0.05		** : P<0.01	
一日平均増体量1 : 肥育開始時～出荷時				
一日平均増体量2 : 肥育開始時～アルファルファ混合時				
一日平均増体量3 : アルファルファ混合時～出荷時				

表2 枝肉成績

	試験区		対照区	
出荷時体重 (kg)	105.7±	1.7	106.3±	2.3
枝肉重量 (kg)	69.0±	2.0	69.0±	2.4
と体長 (cm)	94.0±	1.8	95.0±	2.1
背腰長 (I) (cm)	79.8±	2.9	80.8±	2.9
背腰長 (II) (cm)	68.8±	2.4	69.7±	2.1
と体幅 (cm)	34.6±	0.9	34.6±	1.0
ロース長 (cm)	53.7±	1.8	54.1±	2.1
背脂肪厚 (mm)				
カタ	38.2±	3.3	39.4±	2.8
セ	18.4±	3.8	18.4±	2.7
コシ	28.8±	3.4	28.9±	2.9
3部位平均	28.4±	3.1	28.9±	2.5
三分割重量割合 (%)				
カタ	33.1±	1.1	33.1±	0.8
ロース	37.9±	1.1	37.9±	1.3
モモ	29.0±	0.6	29.0±	1.0
ロース断面積 (cm ²)	20.2±	2.7	19.2±	2.5
PCS	3.2±	0.3	3.5±	0.4
上物率 (%)	73.3		60.0	
平均±標準偏差				

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルグ

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

衛生便り

ヨーネ病について

ヨーネ病は、抗酸菌の一種であるヨーネ菌（*Mycobacterium paratuberculosis*）の感染によって起こる伝染病で、牛、綿山羊などに頑固な慢性の下痢を起こします。特に牛では感染後6カ月～数年で発症し、下痢を繰り返しながら次第に貧血や消瘦が著しくなりやがて死亡に至ることから1971年に法定伝染病に指定されています。本病は世界各国に広く分布しており、我が国では1930年に岩手県で英国からの輸入乳牛に発症したのが最初で、その後の発生報告は輸入乳牛だったものが1981年に約30頭の発生を見てから年々増加し集団飼育方式をとる和牛群からも摘発されています。

現在では、北海道、東北、関東、近畿、中国地方等で発生が見られています。感染経路はヨーネ菌に汚染された飼料、飲水などから経口感染し、6カ月未満の幼獣が感染しやすいことから乳牛より和牛の方が感染の機会が多いと言われています。本病の特徴は、感染後長期にわたって無症状で経過し妊娠、分娩、管理失宣などで牛の抵抗力が低下したときに発症します。普通は軟便から下痢便となり断続的であった下痢が持続的となり水様性の下痢となります。その他貧血、栄養障害、乳量の激減、下顎部の浮腫などが見られ、衰弱して死亡に至ります。また、初期の下痢では治療によって一時回復することがあり、普通の消化器病として見過ごされ大事に至ることがあるので注意が必要です。本病の治療法は現在ありませんので導入にあたっては汚染地域以外から導入するように心がけ、もし本病を疑う症状が現れたときはただちに隔離し、全頭の検査を実施して早期発見、淘汰を励行し、被害を最小限にとどめるようにすることが大切です。消毒にはフェノール剤、ヨード剤、有機塩素剤が有効であると言われています。十分注意をしてください。

(仙台家畜保健衛生所・病性鑑定課 渡部正樹)

随想

乳質を囲む輪

おいしい牛乳の生産は、従来からの衛生的、成分的乳質とあわせて、風味の改善を図ることである。

風味改善は、乳牛の呼吸器を介して牛乳に移る異常臭気（移行臭）の排除を重視し、当面畜舎環境の改善を推進することになった。また、これは牛乳処理室、搾乳衛生、乳房炎等の疾病対策等の、牛飼いの基本（原点）を見直してみる運動である。

乳成分のバランスは、乳牛の生理的、栄養的状态等によって変動する。特に長期空胎では影響が大きく、疾病、高泌乳牛または最高泌乳期での飼料給与、暑熱対策等が不適であると、低成分乳が発生しやすい。1年1産は、酪農経営の基本として推奨されているが、受胎管理は成分的乳質の向上対策としても重要である。

受胎率は、畜舎環境が良いと80%以上になり、不良に比べて約2倍に向上する。また良好な畜舎環境でも、削蹄が良いと80%以上になり、不適に比べて約2倍に増えている。畜舎が環境不良の時には、削蹄その他に努力しても受胎率の向上には無関係である。

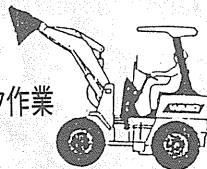
畜舎環境改善は、風味改善、良質乳生産の意欲の高揚、消費者イメージの好転等に寄与している。これは同時に、酪農経営の根幹である乳牛の受胎率の向上と、乳成分の向上に重要な役割を演じている。また乳房炎防除対策に使われる削蹄等の管理が、乳牛の健康管理と受胎率の向上と緊密な関連がある。さらに、衛生的乳質の向上を図るための、搾乳衛生、牛乳処理室等の衛生管理の徹底は、乳牛の疾病予防と畜舎環境改善に寄与することになる。このように、おいしい牛乳の生産対策は、明確な相互関連性を持つ輪の形成を呼び上げさせている。高品質乳の安定的生産を図るため、県内関係機関でも相互連携の輪を強化したいものです。

(宮城県生乳検査協会 荒井 威吉)

◆◆KOMATSU

カンタン操作で、

飼料も堆肥もラクラク作業



宮城小松販売株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688